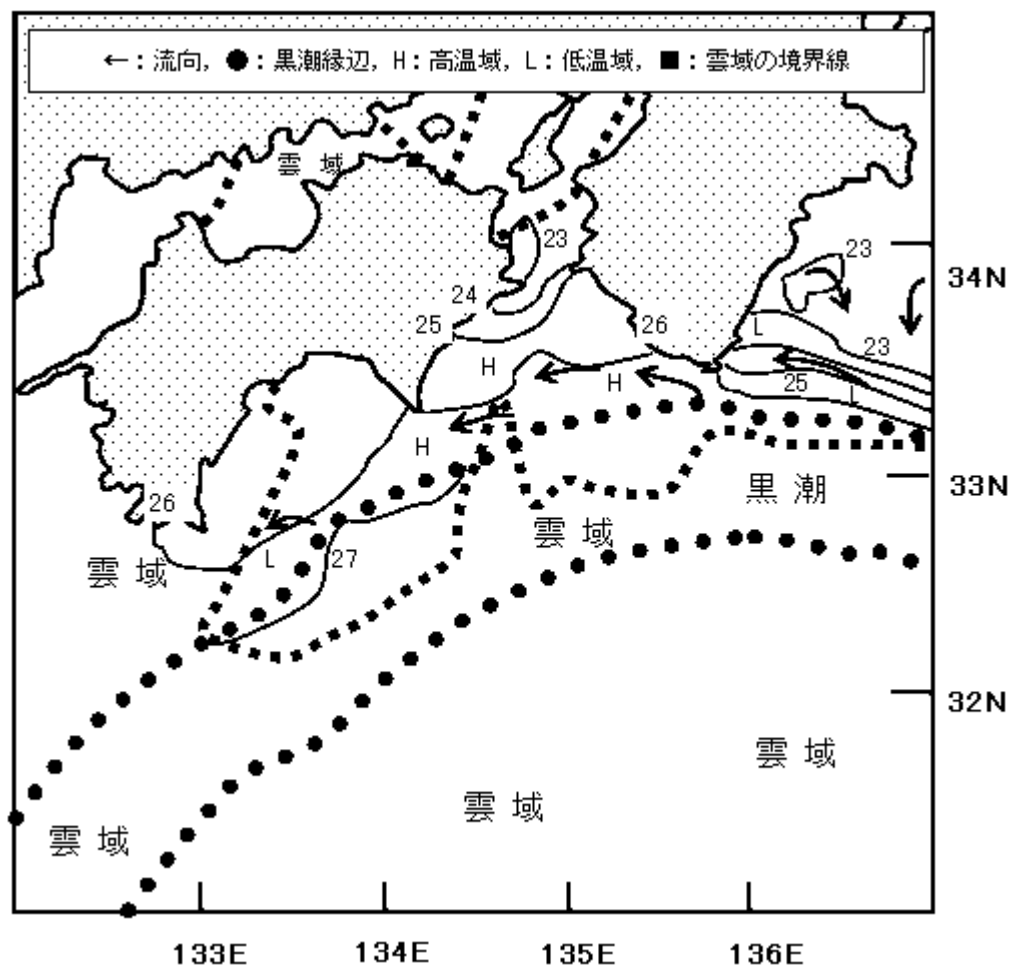


1. 海況の経過



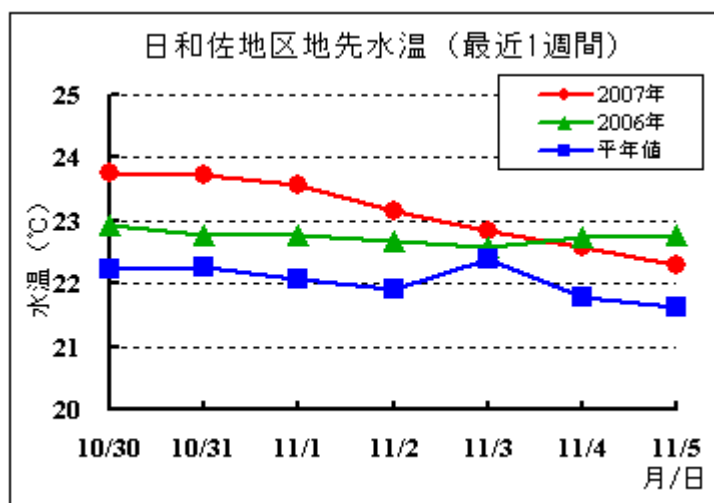
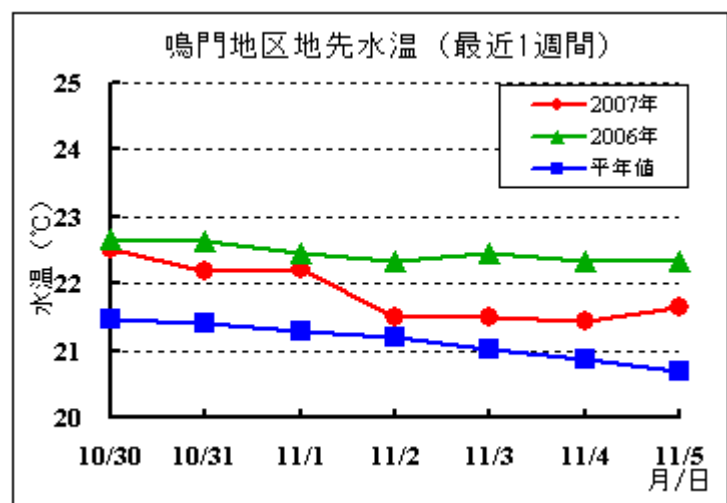
上に和歌山県の人工衛星海況速報(H19.11.4~5)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は26~27℃台である。

表面水温は播磨灘と紀伊水道内部の北部は雲のため詳細は不明、紀伊水道内部の南部は22~24℃、外域は、内部から23℃台の内海水が南下しており、23~26℃台である。潮岬沖の黒潮から26℃台の暖水が反時計回りに紀伊水道外域へ流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」~「やや高め」の21.4~22.5℃、日和佐地区は「平年並み」~「高め」の22.6℃~23.8℃、牟岐地区は「やや低め」~「やや高め」の21.2~23.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが0.7トン(1日1隻あたり37kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、小主体にマアジが1.7トン(同45kg)、タチウオが1.4トン(同29kg)、アオリイカが0.5トン(同5kg)、ヒラソウダが0.5トン(同11kg)、かます類が0.4トン(同10kg)、マルソウダが0.2トン(同5kg)水揚げされた。

すくい網:海部沿岸で、カワハギが0.2トン(同46kg)水揚げされた。

建網:海部沿岸で、カワハギが0.2トン(同9kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、小主体にタチウオが4.5トン(同57kg)、特大主体にカツオが0.9トン(同440kg)、中主体にアオリイカが0.6トン(同7kg)、中主体にシイラが0.3トン(同2kg)、紀伊水道で大、中主体にサワラが1.3トン(同30kg)が水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが4.1トン(同125kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 10月29日～11月4日 県下8協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	20	750	37	大主体
小型定置網		マアジ	37	1,656	45	小主体
		タチウオ	49	1,436	29	
		アオリイカ	100	493	5	
		ヒラソウダ	43	455	11	
		かます類	40	409	10	
		マルソウダ	43	219	5	
すくい網		カワハギ	5	230	46	
建網		カワハギ	24	209	9	
釣り		タチウオ	78	4,466	57	小主体
		カツオ	2	880	440	特大主体
		アオリイカ	90	586	7	中主体
		シイラ	132	255	2	中主体
		紀伊水道	サワラ	42	1,254	30
パッチ網	シラス	132	18,950	144		

週間予報:

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先が「やや高め」の20～21℃台、日和佐地先が「平年並み」の21～22℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでメジロが1.4トン(1日1隻あたり8kg)、スルメイカが2.4トン(同13kg)、イサキが1.3トン(同8kg)、パッチ網でシラスが8.8トン(同125kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが5.4トン、ウルメイワシが1.4トン、メジカが18.8トン、カマスが2.1トン、ヨコワが1.2トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上